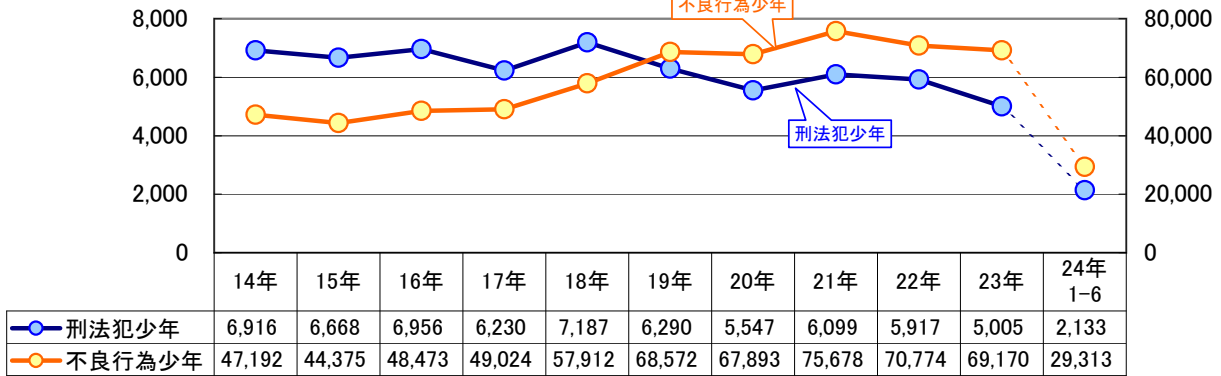


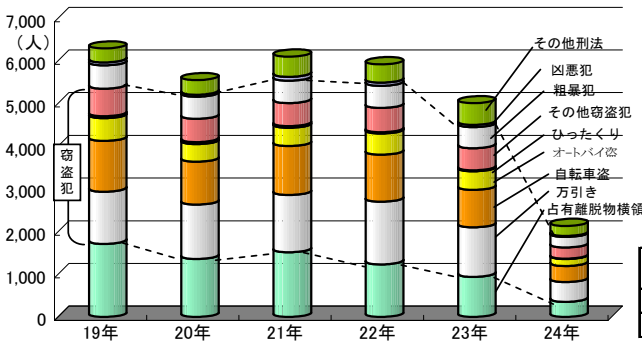
少年非行等の情勢

1 刑法犯少年及び不良行為少年の検挙・補導数

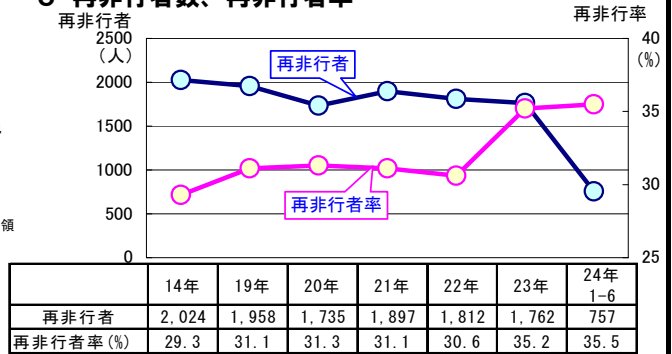


- 刑法犯少年の検挙人員は2,133人(前年同期比-345人、-13.9%)
- 不良行為少年の補導数は29,313人(前年同期比-1,094人、-3.6%)

2 刑法犯少年の罪種、手口別の検挙数

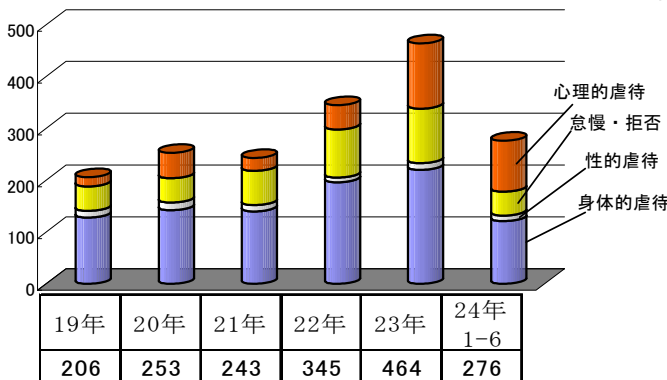


3 再非行者数、再非行者率



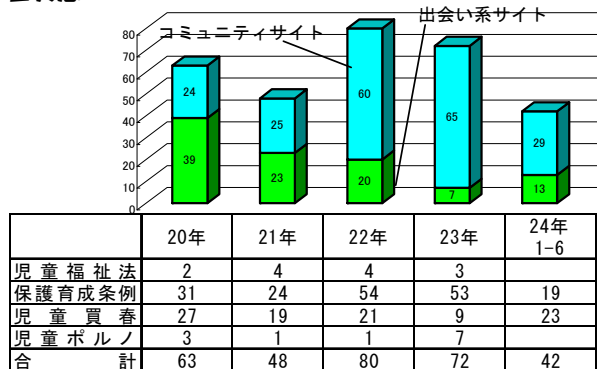
- 再非行者率は10年間で約6ポイント高くなった。

4 児童虐待の認知件数



- 平成23年の児童虐待の認知件数は、統計を取り始めた平成13年以降で最大の認知件数となった。

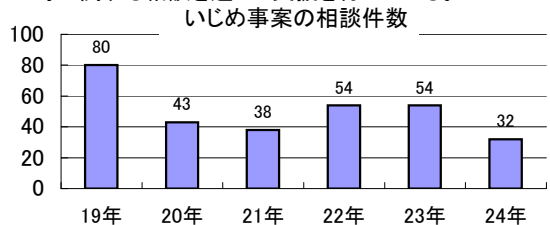
6 出会い系サイト及びコミュニティサイト起因の児童被害実態



- コミュニティサイト起因の被害が多発している。

5 いじめ事案への対応

- 少年相談の受理(被害少年相談、ヤングテレホン)少年サポートセンターでは、少年、保護者等から、いじめ等に関する相談を通じて支援を行っている。



- 学校と警察の連携
いじめ被害の拡大を防止するため、教育委員会等に対しては、犯罪行為に該当するようないじめを認知した場合には、早期に警察へ相談するよう依頼している。

7 脱法ハーブの実態

脱法ハーブは、ハーブ専門店、アダルトショップ、雑貨店等のほかに自動販売機やインターネットを通じて購入することができる。(愛知県内では、平成24年4月現在48店舗が確認されている。)



脱法ハーブの自動販売機



脱法ハーブ